

台 灣 總 督 府
情 報 課 編 輯 部

部 報

護 國 社 鎮 座 祭
空 襲 の 教 訓
地 底 の 増 産 戦 士

六 月 一 日 號

● 戦時生活の簡便化



5



府督總濟台
輯編課報情



昭和十七年六月一日發行

號日一月六

5

臺灣總督府殖産局
物價調整課編纂

總冊10冊 附録1冊
加刷式約五千頁

預約定價約拾圓

臺灣價格關係法規類集

價格統制法規の權威ある決定版

集約的

世界非常の變局に際し、高度國防國家建設のため並進に五年、各種の經濟統制法の公布を見たが、價格統制に關するものは、その影響するところ極めて廣く、且低物價政策實行のため公定價格の全面的に擴張せらるゝに及び、その國民生活に及ぼす影響も本益々重大となつた。本書はその法令の運用に關する方針を明らかにすると共に、公定價格に於ても、物品別に細分數條して、檢出に便ならしめ、關係者に右必携の書たらしめると共に、價格統制の趣旨徹底のため、今同總督府殖産局編輯課に於てこれを編纂し、總督府内務時務執行所に於て出版發行することとなつた。希望者は至急申込みたい。

内 容

- 一、關係法令 官廳（府州廳官廳、臺灣物價委員會規則）國庫補助員法（價格統制令、地代家賃統制令、宅地建物等價格統制令、輸出入品等に關する臨時措置に關する法律、物品販賣價格取締規則、奢侈品等賣場賣場賣場規則、銀行等取締規則、その他）
 - 二、各種法令の運用に關する通達、
 - 三、法令に關する重要事項
 - 四、公定價格（穀類品、金類品、化學工業品、肥料品、食料品、木材、雜品）の七部門に分ち、臺灣總督府及各州廳の公定價格を物品の種類別に細分數條）
- 總督府 殖産局 編輯課
發行所 臺灣時報社
電話 二七〇番
電話 八九番

臺灣 護國神社御鎮座に際して

鎮座祭典委員長 梁井淳二

靖國神社祭典にして、本島に緣故を有する者を以て祭神とする臺灣護國神社は、國費及び六百萬島民の赤誠による奉賛金を以て臺北市大直に御造營工事中の處、諸般の工事も目出度竣工し、去る五月二十二日午後八時より鎮座の儀、翌二十三日午前九時より幣帛供進の儀を長谷川總督參向、關係部隊代表者、軍官民有力者及び緣故者等參列の下に厳肅なる祭儀がとどほりなく執行せられたことは、本島官民として誠に慶祝にたへないところである。

臺灣護國神社の創立

昭和十四年三月招魂社制度の全面的改正に依り、新しく護國神社制度の整

備となり、内地各道府縣に於ては從前の招魂社の貧弱なる御社殿を、内務省の指示する所謂護國神社として修造し、護國神社としての社殿を完備し、護國の英靈を慰め奉り、國民崇敬感謝の誠を捧げつゝある時、本島に於ても、

目次 (六月一日號)

- 護國神社御鎮座に際して…………… 梁井淳二…………… 一
- 空襲の教訓…………… 國防委員會…………… 一
- 時局 珊瑚海海戦とビルマ追撃戦…………… 情報課…………… 三
- 夏の傳染病の豫防法…………… 石井 潔…………… 六
- 緒言…………… 三
- 豫防法…………… 三
- 結語…………… 三
- 國民 科學の振興…………… 三
- 南方共榮圈諸民族と華僑(下)…………… 三
- 現地 地底の増産戦士(一)…………… 三

右神社創建の議起り、時の總督、總務長官の下に臺灣に於ては臺灣全島に一社、總督の指定する護國神社を臺北市大直に創立することに府議決定し、昭和十五年七月十八日總督告示第二八四號を以て公示せられた。

臺灣護國神社 御造營奉替會

曩に臺灣護國神社創立の府議決定するや、軍官民一致護國の英靈に感謝するの赤誠は、直に臺灣護國神社御造營奉替會の結成となり、總督を總裁に、總務長官を會長に、文教局長及民間有力者二名を副會長に、臺灣軍司令官、馬公警備府司令官を顧問とし、各州廳に支部を置き、全島民より二十萬圓の淨財を募集することとなつた。

地鎮祭

諸般の事業の進捗に依り、昭和十六年一月十五日午前十時より現地に於て、長谷川總督、木間臺灣軍司令官、酒井海軍武官、齋藤總務長官以下主なる官民參列の下に、地鎮祭を齋行し、直に工事に着手せられた。工費は國庫二十萬圓、奉贊會二十萬圓、計四十萬圓である。

社殿は臺灣の林相によく調和する流造、總繪材にて檜皮葺にして、社殿の結構壯麗は詢に護國の英靈鎮齋の社殿として最もふさはしいものである。其の概要次の通りである。

- 境内地 三六一〇坪
- 總建坪 三三六坪
- 本殿 一一、五坪
- 祝詞殿 八坪

上棟祭

地鎮祭齋行後直に地均工事に着手し、軍隊、學生生徒、民間等の聖なる汗の勤勞奉仕作業に依り、工事も著々進捗し、昭和十六年十一月九日午前十時半より現地に於て嚴肅且盛大に舉行せられた。

- 拜殿 四二、七五坪
- 神饌所 一三、二五坪
- 祭舎 六八、五〇坪
- 渡廊下 四二、〇〇坪
- 手水舎 二、〇〇坪
- 神器庫 一〇、〇〇坪
- 社務所 一〇〇、〇〇坪
- 倉庫 二八、〇〇坪
- 便所 一〇、〇〇坪

其の他、荒垣、門、石玉垣、透塀門、鳥居、社號標等がある。

祭神

臺灣護國神社の祭神に關しては、昭和十五年七月十八日總督告示第二八四號に、

- 一、臺灣護國神社
祭神 靖國神社ノ祭神ニシテ臺灣ニ緣故ヲ有スル者
- 右神社ヲ臺北州臺北市大直ニ創立ス

とあり、祭神の範圍に付き、内地に於ては各本籍地護國神社に合祀せらるゝのであるが、臺灣に於ては戶籍法の施行なく、従つて其の本籍地に依つて祭神を決定する事は出来ないのである。依つて告示に「臺灣に緣故を有する者」と公示してあるが、

その祭神たる條件は、必ず靖國神社に合祀せられて居る者たることは臺灣

に限らず全國の護國神社の絶對的要件である。

次に「臺灣に緣故を有する者」を更に示せば、

- 一 戦歿の際臺灣に在りたる陸海軍の部隊艦船又は官衙に屬したる者
- 二 戦歿の際臺灣に本籍又は住所(内地人)を有したる者
- 三 臺灣に於ける事變等に因り殉職したる者

と云ふことに定められ、第一項は例へば臺灣第三部隊、第五部隊、或は馬公警備府所屬、或は總督府管轄官衙に屬して居た者等であるから疑問はない所である。

第二項は第一項以外の艦船、部隊等に屬し、戦歿の際臺灣に住所を有して居た者であつて、此は當該郡守、警察署長等の在任證明書に依り決定せらるるのである。例へば現在臺灣に在住し

て内地部隊に入隊又は召集せられたる者の戦歿せし者が此の項に該當するのである。

又此の項に付て唯戦歿者は内地に居住し、内地部隊に入營、召集せられた者にして、遺族のみ臺灣に在住せし者は此の項に該當しないのである。祭神の範圍は遺族の住所本位にあらずして、祭神の住所本位なることを茲に明示して置く。

第三項は、臺灣に於ける事變等、例へば領臺直後の蕃害を指すのである。

鎮座祭に鎮祭せらるゝ祭神

- 總數 九、二六柱
- 内譯
 - 陸軍關係其他警察官、六氏先生等 九、一五九柱
 - 海軍關係 六七柱

主なる祭神は、日清戦争時彰化にて病死の陸軍少将勇爵山根信成、次に海軍大佐迎敦忠を始め、明治十二年西郷従道の臺灣征伐の際の十二柱、領寮後に於ては、有名な六氏先生の揖取道明、平井數馬、桂金太郎、井原順之助、中島長吉、關口長太郎の諸氏、霧社事件の柴田警部等あり、祭神の種族に依れば、花蓮港鳳林庄の花蓮港廳巡查田島三郎(高砂族)、朝鮮京畿道仁川府花町の通譯金天泉(朝鮮人)等の祭神もある。

更に臺灣護國神社は總督(内地にありては内務大臣)の指定する所謂指定護國神社にして、總督府より毎年一萬五千圓の國庫供進金の供進あり、神職は社司一名社掌若干名である。

鎮座祭の意義

由來我が國民は神を敬ひ汚穢を忌み清淨を貴び、初を祝福するのである。是は大和民族特有の淳風美俗である。それで社殿を營み、神靈を招き奉り、鎮め奉らんとすれば、必ず淨地を選び、神に奉仕するには淨心潔齋をするのである。又、初創の習俗は之を吾々の日常生活に見るに、新年を迎へ、或は家庭に初産ありたる時は自他共に祝事をするのである。まして崇高なる神靈を鎮座するに於ては尙更である。

云ふので、この神事に附隨する諸祭儀の總稱である。今回靖國神社の祭神にして臺灣に縁故を有する護國の英靈を奉齋する爲、帝國の南進基地たる臺灣臺北直の淨地に臺灣護國神社の創設を見たことは實に其の好適例で、假令此の祭儀に與ると否とに拘はらず、舉島恭敬英靈の過去に於ける明き清き雄々しき功績を偲び、神恩に感謝し、且この盛典を衷心奉祝すると同時に、全編の誠意を捧げ、よく神意を奉戴して神國完成の天業を扶翼し奉る覺悟を新にせねばならぬのである。

防空

空襲の教訓

敵機恐るるに足らず
訓練通り沈着冷靜に

防空の自信は出來た
然し空襲は侮るな

開戦と同時に、或は開戦前に空襲の行はれることは近代戦の常識でありますから、十二月八日宣戦の大詔を拜する前後から、吾々國民は敵の空襲は當然豫想して居たのであります。果せるかな先月十八日は東京を初め名古屋、神戸その他に敵機が來襲し、爆弾、焼夷弾等を投下しましたが、爆弾は極めて

僅の人命を損傷したにすぎず、焼夷弾も、警防團や隣組の挺身奮闘により殆ど全部が消し止められ、ほんの一部分が火災になつたにすぎなかつたのであります。

これは爆弾が小さかつたとか、又は数も少なかつたからだとも考へられるし、焼夷弾は思つた程強くなかつたからだとも云へませうが、要は市民の空襲と闘ふ敢闘精神と平素の訓練の結果に外ならないのであります。

よる被害とは違つて、落ちたその場所だけに限られ、又落ちたその瞬間だけでありますから、その被害は限定されるわけであります。まして地震などは違つて、「さあ来るぞ」と云ふ豫告、即ち警報が出るわけでありますから、これに應ずる準備さへして居れば、大概の災難は防げるわけであります。又焼夷弾にしてもぐつすり寢込んで居る時の火事とは違ひ、待ち構へて居る所へ焼夷弾が落ちて來るのでありますから、心構へと水や砂などの用意さへあれば消し止められるわけであります。

戦争をして居る以上、ある程度の死者の出る事は已を得ないと云へ、この犠牲を無にしては相済みません。吾々は犠牲者が血をもつて吾々に遺された教訓を銘記すべきであります。その教訓の一つは「空襲は恐るゝに足らない」と云ふ事であります。之は今



度の内地空襲の實際から考へて、女、子供でありながら、焼夷弾を二つも三つも消し止めたものもあり、體を伏せて爆弾の破片を避けて命を完ふした人もあります。平常の訓練通り沈着冷静に行へば、空襲は絶対に恐るべきものではないと云ふ確信は、獨りこれを體驗した東京市民のみではない。吾々も亦この確信が得られたのであります。然し確信の餘り度を越え、空襲を侮つてはなりません。思はぬ不覺をすることがあります。虎が兎をとるに全力を揮ふと云はれてゐます。吾等は此の貴き経験に基き、恐れず、侮らず、必ず勝つと云ふ信念の下に、萬全の準備を整へて置くことが必要であります。

敵の來らざるを待むな。待つあるを待む

防空訓練の場合には、大概先づ警戒警報が出て、次に空襲警報が出ると云ふのが順序であり、又實際の場合もこれが基本的な型であります。敵が何とかして日本を奇襲しようとするから居る今日、警戒警報なしに急に空襲警報の出る場合もありません。空襲警報なしに突然空襲を受ける様な場合もありません。従つて吾々は何時敵機の來襲があつても差支のない態度で居ることが大切であります。然るに大東亞戰の戦果が餘りに大きい爲か、一時準備した貯水槽もぼつ／＼影をひそめたり、貯水槽は出してあるが水が枯れて居たり、砂袋は破れて砂が喰み出てゐると云ふ様な向もありません。敵機、何時でも來いゝの態勢から考へて心細い次第であります。

す。東京では空襲警報が出てからあわ

て、貯水槽に水を汲み込み、しかも水道の水を使った爲に防空上故障が起つたとも聞いてゐます。平生から貯水槽には充分に水を用意し、砂、筵、火叩等もぬかりなく整へて置くことが肝要であります。

又東京では焼夷弾を落されて火事になつたのは、多くは誰も居ない留守の家でありました。警報が出たならば勿論家をあけてはなりません、奇襲される虞のある今日、矢張り家をあけて留守にすることは慎まなければなりません。已を得ず留守にする場合には隣近所にわけを話し、留守を頼み、鍵も預けて置くことが大切であります。

即ち敵が來ないから安心だと云ふのでなく、準備が出来てゐるから安心だと云ふことにしなくてはなりません。

降り来る焼夷弾は各自で消せ

今までは焼夷弾は「各隣組に一發位の割合で落ちるだらう」と云ふ考の下に、隣組の防空訓練をして來たのであります。今度の内地空襲では纏めて投下された所では幅六十二米、奥行二百七十二米に百二十發、約十六坪に一發位の割合であります。又一軒の家に十二三發も落されたところもあるのであります。これから考へて從來の様に隣組十四五人もかゝつて一發の焼夷弾を始末するのでなく、一人で二發も三發も始末する覚悟で居なければなりません。その筋では今回位の程度のものなら、一人で二發は確實に處理出来ると思つて居ますし、又事實老人や婦人が一人で三、四發も消し止めて居るの

であります。

であります。

この様に澤山の焼夷弾が一時に落ちて來るのでありますから、家の中の見張りには嚴重に行はなければなりません。内地では階下の焼夷弾を一生懸命に消してゐる中に、二階に落ちた焼夷弾から火事になつた例もあり、又押入や、便所や、納屋などから火の出た所もあるのであります。それで空襲警報が出た時は家中に氣を配り、特に平生眼の届かない所は細かに注意することが必要であります。

従つて今までの訓練の時の様に「焼夷弾が落ちた」と云ふ防護監視の叫び聲ですぐ飛び出すことは考へなければなりません。一應自分の家に何事もなほ見届けてから飛び出すと云ふことになりませう。又焼夷弾の落ちた家では隣組の應援に頼ることなく、自分で消し止めると云ふ決心が必要にな

つて来るのであります。

犬死は國民の恥、待避に努めよ

敵の空襲に對して勇敢に戦ふことは勿論必要なことでありますが、無益な被害は絶対に避けなければなりません。我が國で防空壕やその他の待避所を造る所以も茲に在るのであります。それで外出中に空襲警報に出遭つたならば、急いで自宅なり目的地なり行つて防空の任務につき、敵機の爆音が聞えたり姿が見えたり、或は高射砲、機關銃などの銃砲聲が聞えて來たら、特別の人を除き、その他の人は總て待避所に入るなり、適當な地物を利用して伏せをしたり、かんだりして待避する——この時眼と耳を手で塞ぐ——ことが建前になつてゐます。然るに今

回の内地空襲に當つて、この待避をしなかつたり、甚しいものはバスから降りて空中戦闘を見物したりしてゐた爲に死んだり怪我をした人もあつたやに聞いてゐます。從來本島の防空訓練でもこの待避訓練が一番成績のよくないのに鑑み、今後は見業や體裁に捉はれず充分訓練し、いざと云ふ場合には役立つやうにして置くべきであります。尙高射砲の破片、機關銃の掃射などによる被害もあつたのでありますから、努めて屋内に待避し、任務上屋外で活動する人は鐵兜、座布団利用の頭巾其の他のもので頭を防護することが大切であります。

子供は國の寶、その寶を失ふな

今度の内地空襲で、最も吾々を痛恨

富豊庫在 (双片) スプリング "PRINCE" SAFETY AUTOBLADE
心地よい 感觸よい 素晴らしき 切味!
大坂出張所 南區安生町一丁目一五 日の丸フレッド製作所
工 東 京 工 場 玉 寶 塚

せしめたことは、學校を攻撃したことでありませぬ。敵の目的は何處にあつたかわかりませんが、大都市やその附近では、學校は比較的建物が大きい爲に敵の目につき易く、重要施設と誤られたいものと思はれます。かう云ふことは今後も屢々あることゝ覺悟しなければなりません。それで學校の防空は設備に於ても訓練に於ても一段と強化しなければなりません。

學校防空の中で一番大切なことは、児童、生徒の待避であります。現在の臺灣の學校では多數の児童、生徒を擁護する丈の待避設備がないのであります。然し今すぐにその設備をしようと云ふことは到底出来る事ではありません。よつて現在の教室なり廊下なりを使ふより外には途はありません。非常に不十分ではありますが、この不備は教職員工夫と児童、生徒の待避訓練

によつて補ふより外に方法はありませぬ。各學校では夫々の事情に基き周到な計畫を樹て、その計畫の下に度々訓練を行つて、萬一の場合、児童、生徒の安全を期することが必要であります。

工場防空の充實を圖れ

工場防空と云ふことは大切なことではあります。稱へ出されてから日が浅い爲か、實際にはまだなかくてあります。臺灣に於ては特にこの感が深いのであります。今度の防空の不十分な工場が空襲され、いろいろ貴重な資料を得たのであります。工場防空の要點は空襲されても生産能力を下げないこととあります。この爲には従業員の擁護、工場、機械等の防護と云ふことになり、設備資材の充實と、従業員の訓練が必要になつて來るのであり

ます。生産擴充の益々必要な折柄、島内の各工場に於ても愈々防空の強化に努力せられんことを希望致します。

護り抜かう我が國土

一度び空襲すれば東京を燒野原にして見せると豪語した米國の空襲も、我が防空の堅陣には敵し難く、逆に我をして防空に自信を持たしめる結果に陥り全く失敗に歸しましたが、敵は更に二回、三回と今後執拗に空襲を繰り返すのであります。しかし今後何百回の空襲があらうともびくともしてはなりません。吾々も既に前線將兵同様、戰場に立つてゐるのであります。大東亞戰を勝ち抜くためには、斷乎國土を護り抜かなければならぬからであります。

臺灣國防議會防空部

時局解説

珊瑚海海戦と ビルマ追撃戦

情報課

一隻、英戦艦ウォースパイト型一隻は大破、大損害を蒙った。

カリフォルニア型はハワイ海戦唯一の生き残り戦艦で三萬二千六百噸、米國艦隊には同型戦艦は二隻あつたが、一隻は先のハワイ海戦で、我が軍のせめに撃沈されたので、こゝに米國の戦艦中からカリフォルニア型はみんなその姿を消して了つたわけである。

続いて八日には、まさに我が潜水艦の爲に太平洋の眞唯中で爆沈せられたレキシントンと共に、米國が世界最大、最強と誇つた航空母艦サラトガ(三萬三千噸)、及びヨークタウンを、

壯烈!!! 雷撃機の體當り

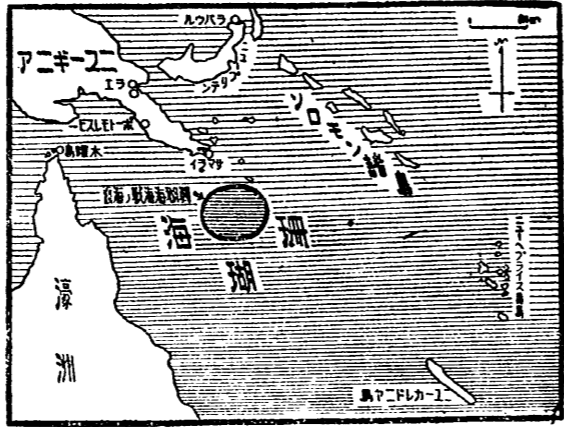
ニューギニア方面に敵を探し求めてゐた帝國海軍部隊は、五月六日、珊瑚海の眞ん中に、航空母艦二隻を主體にした敵の有力な艦隊を發見した。そこでその行動を注視し乍ら之を取り逃さない様に、帝國艦隊は攻

撃の機を狙つて待つた。珊瑚海といふのはニューギニア島、ソロモン諸島、ニューカレドニア諸島と濠洲大陸との間に包まれた海である。

七日、我が軍は攻撃を開始した。攻撃開始と共に躍り立つた我が航空部隊は、敵航空母艦や主力艦隊に向つて、餌食を狙ふ荒鷲の如くに襲ひかかり、あわて

飛び上つて来た敵戦闘機群と激しい空中戦を交へた。果敢なる我が海鷲群は、忽ちにして敵航空母艦上空のみで六十一機を、又味方の上空に飛來して反撃を試みた敵機を逐へ撃つて二十八機を、合計八十九機を珊瑚海の中に叩き込んだのである。その間、米戦艦カリフォルニア型は一瞬にして轟沈、英甲巡キヤンペラ型二

ル型一隻に對して機體もろとも巨弾を抱いたまゝの、壯烈無比な體當りを敢行して大損害を與へ、其の外に驅逐艦一隻を撃沈、二萬噸級給油艦一隻を大破



せしめたのである。

その搭載機百二十機、八十機と共に、珊瑚海の底に撃ち沈めて了つた。更に逃げまはる敵艦艇を追ひつめて攻撃の手を緩めなかつた我が海鷲は、米甲巡ルイスビ

畏し!!! 勅語を賜はる

然しこの戦で、我が海軍

勅語

聯合艦隊航空部隊ハ勇戦奮闘珊瑚海ニ於テ大ニ米英聯合ノ敵艦隊ヲ撃滅セリ朕之ヲ嘉尚ス

いて、遠く南方の珊瑚海上に華と散つた英靈に對する感謝を、米英濠聯合艦隊復讐の偉業と共に永久に我が心の上に、歴史の上に残さねばなるまい。されば 大元帥陛下におかせられても、この海戦のことを申し召されるや、五月十二日海軍幕僚長をお呼び寄せになつて、聯合艦隊司令長官山本五十六海軍大將に對し、左の勅語をお下しになつた。

時局解説

敗戦をこまかす米

昨年十二月八日のハワイ海戦で、米國の太平洋艦隊は殆んど全滅したにもかゝらず、米國政府は、失つたのは艦二隻だけだ、他は太平洋に日本艦隊を追つかけてゐるのだと發表した。最初に嘘をつくと最後まで嘘をつかなければならなくなる。米國は最初のハワイ海戦で自國の國民を欺したものだから、次々と嘘を重ねて、敗戦をごまかしていかなければならなくなつた。そこ

でハワイ海戦の次にはマカツサル海戦といふありもしない海戦を作りあげた(大東亞戦争の推移(五)、部報三月一日號参照)。これは日本の空輸送船數隻をマカツサル海で撃ち沈めたのを好むことにして、日本戦艦二十四隻を撃沈したと、とんでもない發表をしたのである。現在日本にこれだけの戦艦があつたら、日本はもつと大いなる戦果をあげ、アメリカあたりをどんどん攻撃してゐるであらうが、現在どころか、八年後になつたら揃へることが出来るかも知れぬ程の數である。開いた口が閉がらぬとはこのことである。ところが米國民は之を信じさせられてゐたのである。アメリカ軍が勝つてゐるとばかり思つてゐたのに、マニラが陥ちても米國の政府はちつとも比島に援軍を送らないし、その中にシンガポールは潰れて新しく日章旗が立つし、東印度諸島にはどんどん日本軍が攻め上るし、英國や濠洲あたりからもい

時局解説

出て来ては叩かれ米國の海上機

米國の海上機

非難する聲が届きはじめてので、初めは信じてゐた米國民も、これは少しをかしいと疑ひはじめ、一體米國艦隊は何をしてゐるのかと責られさうになつて来た。そこで米國政府は何とかしてこの敗戦をごまかし續けて、初の話とつちつまを合せていかなければならなくなつた。としても之以上大きな嘘はつけなくなつたので他の方法を考へ出したのである。

動部隊がそれである。これは航空母艦を中心に、巡洋艦や驅逐艦を配したもので、これによつて米國は自國民や其の他外國からの人氣をとりとめようと焦つたのである。最初にそれが現はれたのは、我が南洋のマシーナル群島であつた。ここには我が軍艦は一隻も沈められなかつた。却つて日本の水上偵察機に十一機が撃ち落されてはうぐの態で逃げ去つた。これを米國は日本領土のマシーナル群島を奇襲して大成功を収めたと發表したのである。次には我が海軍に占領せられた大島島(舊名ウエーキ)に

行つた。そこでは爆弾が病院にあつたが、この病院には何たることか米國の戦傷兵が入つてゐて、自分の弾で自分の國の兵隊を殺して行つたのである。又我が南島島を盲爆したが、之も住民數人に害をなしたにすぎなかつた。次には方向をかへてニュギニヤ沖にやつて来たが、この時は大型の航空母艦が、我海軍の「見敵必殺」體當りの戦法にやられて撃沈せられて了つた。この時には彼等は黙つてゐた。人氣とりのためにやつたことが却つて人氣を失ふことになつた。米國の人氣集めは失敗に終つた。米國海軍は出て行く度に日

朝日上海火災

本軍のために叩きのめされたのである。これではいかぬ、何とかせねばならぬ、といふので次にやつたのが、日本々土の空襲であつた。この時も航空母艦は日本海軍が恐いので飛行機を飛び立たせておいてすぐに自分は逃げ歸つて了つた。日本を襲つた飛行機は大きいものだつたから、航空母艦に積める數のせいゝ十機餘りがとんで来たにすぎない。これも米國としては失敗であつた。だから我々としてはきつと大宣傳をやるであらうと思つてゐた米國が、何も發表しないのである。さすがの米國も病院や學校に弾を落しておい

本館 上海 海上 火災 運送 自 運送 運送

本 店 大 阪 北 濱 雄 一
 長 會 役 締 取 長 社 役 締 取
 部 支 北 台 部 支 北 台

時局解説

て、大成功だつたと云ふのは気がさしたものと見える。

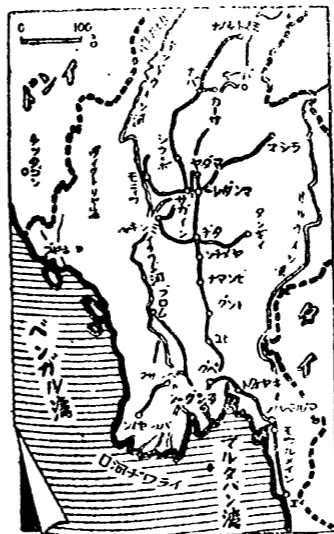
そしてその次に今度の珊瑚海戦が起つたのである。敵側では今度こそ日本海軍をやつ

けてやらうと思つてゐたのだらうが、結果はあの通りで、結局米國は残つてゐた航空母艦五隻の中、大きいのを二隻やられたのだから、數から云へば五分の二だが、實際の力の上から云へば五分の三を失つたことになる。

「何の顔あつてか父祖に見ん」といふ言葉があるが、

米國軍に果してこの意氣があるであらうか。むしろ我軍としては米國軍にこの意氣を持つて出て來て貰ひた

いのである。出て來さへすれば一舉に叩き潰して了ふのだ。これが日本軍の意氣と自信と力である。



敗残英軍殲滅の外なし

ビルマ方面雲南省突破部隊は十日、ビルマ公路の要衝騰越を占領した。一方敗

走する英軍を追つかけて、夜晝となく悪路と猛暑を冒してチンドウイン河に沿つて、印緬公路に猛進を續けてゐた部隊は、十一日午前七時カレワ(マンダレー西北二五杆)の南方十杆の

コンギイに突入したが、これに應じて河の西方にあつた精銳部隊も、敵の背後を衝いて、エウ(マンダレー西北一〇杆)から退却して來た兵二萬からなる有力な敗殘敵機械化部隊を包圍して、激しい殲滅の火蓋を切つて落した。敵は逃げ路を得ようと激しい抵抗を續け激戦苦闘は十三日の夜まで續いたが、遂に敵は自動貨車二千輛(内使へるもの一千輛)戦車百十三臺(内半數は使へる)火炮四百二十一門と死體千二百を殘してメチャクチャに亂れて敗れ去つた。

こゝに吾々の注意をひくのは、敵の兵數二萬といふ

時局解説

多數なのに比べて、その遺棄死體が甚だしく、その反對に鹵獲品が非常に多いといふことである。このことは、英軍が戦ふ心を失つて了つて、武器を捨て、丸腰で逃げていつたことを物語つてをり、しかも戦に敗けたについては、重慶軍が退却したからだなどと悪口をいつて、大混亂に陥つてゐることである。

印度とビルマを結ぶ連絡路のとして、ミイトキーナー—サマグティン、シクアン—インパール、カレワ—チタゴン、

ガンカウ—チタゴンといつたバトカイ、アラカン兩山脈を横斷する四つの峻しい悪路が残つてゐるだけで、去る四日アキアアを失ひ、ベンガル山方面から反撃することが出来なくなつたのだから、英軍はチンドウ河から上流に退却路を求めて右往左往したところで、晩かれ早かれ皇軍によつて殲滅される運命にあるのである。又カレワから印度國境へは僅かに百杆で、皇軍は必要とあれば、いつでも印度へ攻め込める戦形をとつたことになり、既に十八日午後には印度からの援將ルートの要地バタプールの急襲して停車場、倉庫、敗

敵部隊が満員の列車等に命中弾を浴せて敵を大混亂に陥れてゐる。この様に北部ビルマ方面に於ける皇軍の働きは一方に雲南方面將軍を壓へつたと同時に、他方印度方面に與へた威壓は、實に大きく、この作戰の意義は頗る大であつたといはなければならぬ。

(三月十九日)

劇業明治十四年

日本ペイト

東京大阪天台北

夏の傳染病の豫防法

隣組で下水溝の浚渫 傳染病を撲滅しよう

石井 潔
臺北帝國大學 助教授

夏の傳染病は主として消化器系統の傳染病、即ち飲食物によつて傳はる病氣が多い。その主なるものは腸チフス、パラチフス、赤痢(細菌性及びアメーバ性)、疫病等である。之等の傳染病は臺灣のやうな亞熱帶地方に於ては一年を通じて絶へることはないが矢張り夏期に最も多く發生する。嘗つて大いに怖れられたコレラの如きも消化器傳染病であるが、我國防疫施設の完備に依つて現在では國內に流行を見ることはないが、南洋及び南洋との交通が頻繁になるに連れて何時その侵入を察するかも計り難い。又臺灣に於てはマラリアも亦夏期に多く發生する傳染病であるが、今回は主として前述の消化器傳染病の豫防法に就いて簡單に申し述べる。

緒言

先づ最初にこのやうな傳染病がどうして夏に多く、冬には比較的少いかと云ふに、それには色々な原因がある。第一夏季には人體の抵抗力が一般に弱くなり、且つ胃腸の機能が衰へて病菌に負け易くなること、第二には夏は暑いために煮た

豫防法

ものを嫌つて冷い物とか生の食物を欲しがること、第三には暑熱のために睡眠不足勝ちの身體を夜半過ぎから肌を露はしたまゝぐつたり寝こんで湿度の下つたのに氣付かず寝冷へをし易いこと、第四には飲食物が夏には兎角腐敗しやすくなること等の發病の誘因となる條件が非常に増えてくるところに加へて、湿度や温度の關係から細菌の繁殖力が旺盛となり、又蠅、油蟲の如き細菌を媒介する小動物が横行して病原菌傳播の機會が多いことに起因するものである。

病原菌の侵入門であるところの吾人の口に入る總ての物に不斷の注意を拂ひ、又病毒の媒介者に就いて警戒を嚴重にすることが肝要である。その主なる事柄を左に列挙する。

一、食事前及び用便後の手指の洗滌。三度の食事の時は勿論、間食の際にも必ず手指を洗ふ習慣を付けることが必要である。子供の如きは遊戯をしたり、土いぢりをしたりして随分手を汚したまゝ食物を手づかみにして食べるから特に危険である。又直接炊事に關係する主婦や女中さん達は臺所に入る前に必ず手を洗つて欲しい。赤痢や疫痢には

家族傳染が多く、一家数名とか十数名とかが同時に發生することが屢々ある。これは一家内の誰かが、特別にお臺所を預つてゐる主婦とか女中さんが輕症赤痢に罹つてゐて、自分では普通の下痢位に思つてゐるために、便所に行つた時赤痢菌の付いた手指を充分に洗はないで又炊事を始めるので、食物の中に菌を混入させ、この食物を口にした家族の者が赤痢に感染して續々と發病するわけである。赤痢の水様粘液便中の赤痢菌は塵紙を容易に通すものであつて、某氏の實驗に依れば、普通の塵紙で八枚乃至十枚重ねてやつと食ひ

止め、高紙の薄い塵紙では二十六枚目に漸く赤痢菌の浸出を防ぐことが出来たと云つてゐる。便所から出た時の吾人の手が如何に汚染されてゐるかは之によつて知ることが出来ると思ふ。現に東京市に於てはこの十數年來毎年赤痢が激増する計りであつたが、昭和十四年に於て當局は一方家庭の主婦に呼びかけ、他面飲食物營業者に説示して極力「臺所に入る前の手指洗滌」を勵行せしめたところが、その後赤痢患者の發生が目に見えて少くなつたと云ふことである。又電車やバスの吊革の如きも不潔なものであつて、

若し赤痢患者が菌の附着した手で握つてゐたならば、その後握つた他の人の手には菌が付いてゐないとは云へない。外出後の手指の洗滌もこの意味に於て必要であると思ふ。

二、野菜の洗滌。我國のやうに野菜の肥料として人糞を用ひてゐる國に於ては往々にして野菜が腸チフスや赤痢の媒介をすることがある。之は單に傳染病だけではなく野菜には寄生蟲の卵が多數に附着してゐるので、日本の家庭の臺所の衛生として野菜よりの傳染病や寄生蟲の傳播を防ぐことは最も大切なこと、云はねばならない。農家で野菜洗

瀝の状態を見ると、多くは流れの悪い泥水で洗つてゐるし、甚しきは肥料桶と一緒に洗滌してゐる所さへある。之等は防塵上不都合なことであるのみならず、甚だ不愉快なことである。それで野菜を一度煮沸した後に使ふやうにすれば、いかに病菌がついてゐても安全であるが、最近野菜を煮沸すればビタミンが消失するから栄養上からは生で食べた方がよいと云ふので盛んに生で食べてゐるやうであるし、又日本人は漬物や香の物が好きであるので野菜を煮てしまふわけにいかないことがある。それで吾々は市場の所謂消毒

済なる野菜を買ふことは勿論必要であるが、それでも未だ充分とは云へないので野菜を買ひ入れたら一應晒粉水で消毒することが最も安全である。即ち藁所の外に一斗樽を置き、晒粉一匁を入れて七八升の水を注ぎ込み、その中に野菜を入れてよく洗滌し、それから清水で成るべく水に勢をつけて洗ひ流して後臺所に入れるやうにするのが最もよい。

他で汚れてゐる手を以て扱ふと病菌が井戸水に浸入することがあつて危険である。又ポンプを取りつけたものであつても井戸側の周圍に下水があるとか、又便所、汚水溜があつたり、井戸端で衣類や襪を洗濯するやうな場合には汚水が病原菌と共にしみ込むことがあつて、従前には井戸水を媒介して赤痢や腸チフスの流行を來した事例は屢々あつた。

川下の人々が赤痢又は腸チフスの爆發的大流行を來した實例が澤山あるが、一々例を擧げるとは、省略する。

四、下水の改善。現今歐米の都市に於ては赤痢とか腸チフスの如き消化器傳染病は殆んど見ることが出来な位になつてゐる。之は主として下水道が完備して汚物の處理が合理的に行はれるに至つたためである。つまり全市の尿尿や汚水を悉く下水道管に入れ、これを汚水處分場を集めて夫々安全なる處理を行ふのであつて、尿尿を住家に止めることなく排泄するや直ちに之を除去するのである、か

ら、傳染病菌が到底はびこる餘地がないのである。我國に於ては未だそれほど發達してゐないから、下水は流通をよくし、汚水が溜らぬやうに努めなければならぬ。汚水が家の附近に溜つてゐると、それがしみ込んで井戸水を通じて傳染病流行の源を爲し、又小兒は所謂どぶいちりをして直接病氣に罹るものである。

消化器系傳染病を徹底的に豫防するには汲取便所の改良が根本的問題である。その改良法として色々な方法が考案されてゐるが、之には地域的問題や經濟的事情もあつて仲々そう簡単に、且つ劃一的には行へぬし、又現今の如き資材不足の時節には尙更實行が困難であるが、少くとも糞尿槽に蠅及び油蟲が出入出來ないやうに外界と遮斷することには必ず實行せねばならぬ。又時々消毒剤を撒布することも肝要である。

六、蠅及び油蟲の發生防止と驅除。我々が傳染病の媒介者として最も注意しなければならぬのは蠅と油

蟲である。これらのものは便所とか汚物溜とか兎に角不潔な場所に好んで飛んで行き、その歸りには足や羽に不潔物を付けたまゝ、我々の食糧の上や菓子等の直接口に入るもの及び口に接觸するものに遠慮なく飛んで來て止る。その際同時にチフス菌とか赤痢菌とか或いは結核菌などを運んで來る。或る學者の實驗に依れば蠅の六本の足に二十九萬と云ふ澤山の細菌が付いてゐると云ふ。殊に油蟲はその體が大きいので蠅の數倍乃至數十倍の細菌を運搬するわけでは最も恐るべき敵の重爆撃機である。蠅や油蟲が最も好んで棲

息し或ひは發生する場所は、便所、芥溜、豚小屋、雞小屋などであるから、之が清潔處分を講ずることが必要である。鹿芥などはそのまゝにして堆積するのは最もよくないことである。故に蠅の蛆や蛹を滅すために殺蟲消毒剤を發生し易い所に撒くとか、「蠅取り日」や「油蟲征伐日」を催して町内擧つて之等の驅除に努めることも自治豫防上肝要な事柄である。油蟲退治には、馬鈴薯を煮たのをつぶして夫に硼酸の少量を混じて油蟲の横行しやうな所に置いておくと油蟲はそれを食べて死んでしまふから、これは最も簡單で効果

のある方法である。

七、生物を食はないこと。生の食物として刺身、握り寿司、洗ひ等がある。

元來魚肉の中にはチフス菌とか、赤痢菌は居ないのであるが之を取扱ふ魚屋の手指や蠅などによつて汚染される危険が多分にある。歐米人が日本に來て驚く一つは、日本人が平氣で生の魚肉即ち刺身を食へることである。又牡蠣によるチフスの傳染も起りうる。之は牡蠣を養殖してゐる海岸に不潔な溝渠が流れ込む場合、そこに出來た牡蠣にチフス菌が附着して、之を生のまゝ酢のものとして食へるときに發生するのである。と

にかく少くとも夏に於ては、このやうな生の食物は食へないで煮るか焼くかして食へるのが安全であると云へる。

八、豫防注射及び豫防内服ワクチン。腸チフスの豫防には何んと云ても効果あるのは豫防注射である。東京市の例を取つて見ると、大正十三年には東京市の人口は現在の約半分であつたが腸チフス患者は一萬百九十二名も發生した。警視廳は此の豫防対策の一として豫防注射を始めた。するとその普及につれて腸チフス患者は年次減少して昭和十一年即ち日支事變の始る前年には二千五百八十七名に

まで減少した。これは大正十三年に比較すれば、人口が二倍になつたのに患者は四分の一に減少したのであるから、結局豫防注射に依つて腸チフス患者が八分の

一に減少したといふ極めて良好なる成績を示すものである。然るに日支事變の突發と共に患者が又増加し始めて來た。これは一面には人口の増加によることもあるが、他面には一部市民中の所謂金まはりのよい連中の不衛生と、尙もう一つは平素の繁忙につれて「作業に影響する」といふ口實の下に豫防注射を受けなかつたことが關係してゐると云はれてゐる。それで今度は

會社は會社で、工場は工場といふやうに「職場注射」を行つて豫防に努力してゐると云ふ。

豫防注射を行つて置けば腸チフス、バラチフスに罹ることは極めて少くなり、時に毒性の強い菌をうけたり又一時に多量の菌が浸入したりして不幸にして之に罹思した場合も、その経過は極めて軽く済み、又死亡するやうな事も殆んど無くなるものである。故に注射後に時として軽度の發熱、頭痛、全身倦怠が現はれたとしても豫防注射を受けておくことは自己の爲めにも、又社會衛生上からも必要なことである。

但し心臓病、腎臓炎、肺結核等に患つてゐる人や妊婦は見合せた方がよいし、又現在發熱してゐる人は解熱するまで延ばすべきである。又豫防注射の有効期間は全體十箇月位であるから毎年一回、流行期に先だつて即ち春先きに受けておくのが安全である。

注射回数は二回式又は三回式が行はれてゐるが、免疫學上から云へば、同じ分量を注射するにしても回数が多い方が免疫體が深山發生するから三回式の方が効果的である。

赤痢や疫痢は病原菌が腸管に寄生して發病する病氣であるから、内服薬によつ

て腸管を免疫状態にすれば豫防が出來ると云ふ譯で、内服ワクチンが發賣されてゐる。殊に此の病氣は患者の大部分が小兒であるから、兒童には夏季流行時季に少くとも一回、出來得れば二三四回服用せしめたいものである。警視廳の報告に依れば、之を服用した者と服用しない者との赤痢、疫痢に罹る割合は略一対三位の差違があり、且つ服用者は罹病しても死亡率が低いと云つてゐる。

只こゝに注意したいことは、腸チフスの豫防注射にしろ、又赤痢、疫痢の豫防内服にしろ、前述の如くその効果は絶對的のものでは

ないのであるから、豫防注射を受けたらとか、或ひは内服ワクチンを服用したからと云つて油斷をして不衛生するのは禁物である。

次に若し不幸にしてこのやうな傳染病に罹つた場合、即ち發熱、頭痛、全身倦怠、下痢、血液粘液便等の徴候が出現したときは直ちにしかるべき醫師の診察を受けることが肝要である。夏の傳染病は早期に治療を受ければ受けるほどの結果は良好である。特に小兒の赤痢・疫痢は文字通り分時を争ふものであるから早期治療といふことが實に重要である。吾々は治療の時期を失したために不幸

な結果に終つた多數の實例を見てゐる。

結語

吾國の文化は年と共に進み、今や世界の第一等國として且又大東亞の盟主として雄飛してゐるが、傳染病殊に消化器系傳染病の多いことはまだ二等国三等国に等しい有様であるのは甚だ残念なことである。傳染病の豫防には一人の不注意な者があつても著しくその効果を減少するものであるから、全國民が一致してかゝる傳染病の撲滅に努力して人的資源を確保し、國防國家を達成し、以て大東亞戰爭の完遂に邁進したいものである。

皇民講座

第六十講

科學の振興

科學とはどういふものであるかといふことを、げんみつにいふことはむづかしいが、かんたんにいへば、學問のことで、植物や動物のことを研究するのも科學であり、藥品や機械のことを研究するのも科學、人間の心もちやそのはたらきを研究するのも科學である。したがつて、科學的だといふことは、物事をはつきりとりくつにあてはめて考へることをいふのである。卵をにるのに、何度か熱で、何分間にればよいなどといふのは、科學的な卵のにかたで、いゝかげんにぐらゝとにて、もうよからうなどといふのは、科學的ではない。このごろの戦争は科學戰などといふのは、機關銃や戰車や飛行機や高射砲や火焰放射機など、科學的な兵器がつかはれるからであ

る。

さてこの科學は、どういふ意味で大切であるかといへば、工業や技術の進歩をうながすもととなり、國防に重大な關係があるからである。

科學の研究は、いろ／＼な發明發見となつてあらはれる。エックス線といふものが發見されて、病氣の治療に用ひられ、いろ／＼な効果をあげてゐる。輸血なども大へんな人助けになつてゐるし、新しくつくられた藥品なども、大いにきゝめのあるものがある。また、いろ／＼な機械が發明され、その機械の力で物をつくつたり、仕事をしたりするから、世の中がぐん／＼ひらけていつて人々があはせになる。

科學は、また、國防に重大な關係がある。すなはち、國力を増し、強力な軍隊をつくるには、科學の力をかりなければならぬ。殊に軍隊の方は、機械化すると、ぐつと戰鬪力を増すから、どこの國でも、一生けんめいである。今までは、銃をかついでてゝあるいたところを今では、快速部隊などといつて、自動車にのつたり、自動車にのつたりして進む。今までは、馬にがら／＼大砲

をひかせたところを、今では、自動車でひいて走る。今の軍隊は、實によく機械の力を利用してゐる。それゆゑ、兵器なども日ましに進歩し、いちじるしい改良が加へられたり、新しい兵器があらはれたりする。軍艦にしても昔の軍艦と今の軍艦では、ぜん／＼内容がちがふといふ。潜水艦などは、艦せんたいが精巧な機械そのものである。一目見ただけでいかに機械の力が利用されてゐるかどわかる。

かういふわけであるから、わが國でも、最近、特に科學の振興に心がけ、こんどの國民學校では、前よりも一そう科學教育に力をいれることになつて、すでに、一年生の時から、科學に眼をむけさせるやうに心がけてゐる。これからの國民は、國民學校時代からさかんに科學教育をうけることになる。また、このたび、政府は、技術院といふものをつくつて、科學に關する技術の進歩發達をはかり、特に航空に關する技術に力をいれることになつた。これなども科學振興のための考であり、特に、戰時體制における科學尊重のいみがあるのであらう。

科學は學問だから、學校にはいらなければ、研究がで

きないと思つてはならない。心がけさへあれば、自分の身のまはりに、いくらでも研究問題を見つけてくる。火をおこすにはどうすればよいか。鋸はどう持てば力がはいるか。小刀はどうとげばよく切れるか。時計がとまつた。どこがわるくてとまつたかなど、物事に對して研究心をおこす。わからないところは、わかるまで考へてみる、しらべてみる、何をみても、何でできてゐるか、どうできてゐるかぐらゐは考へてみる。かんたんな器具や器械ならば、そのしくみをしらべてみるぐらゐのこととする。すべて物事に對して、かういふ研究的なたいどをとつたならば、いろ／＼なことがわかつて、きよみもあり、また利益もあるであらう。

これからのわが國は、大東亞共榮圈を確立する上からも、世界最大の強國となる上からも、科學の振興をはかることが大切であり、したがつて青年たるものも、科學思想の理解につとめて、發明の一つや二つはするぐらゐの心がけがなければならぬ。

臺灣總督府編輯官

中美春治



増産で築き産業大東亞

地底の増産戦士

臺北州金瓜石鑛山に

總力戦の尖兵を訪ねて

今大東亞戦争先運のために、あらゆる産業をあげて増産へまっしぐらな進軍を叩きつけてある時、鑛山、炭鑛等の地下資源の開発も、國策に沿つた重要産業として、産業戦線第一線の尖兵たちが、太陽のない地下数千尺の坑内で、噴霧や塵をふるつてゐるのである。こゝ臺北州基隆郡瑞芳庄は四面を山岳でかこまれた金鑛、炭鑛地帯、農耕地は僅かに四百甲歩にすぎず、全庄下にわたつて鑛脈が縦横に走り、夜を日に次いで金鑛銅や石炭が採掘されてゐる。

山に捧げた四十年

落盤をよけるための坑内帽をかぶつた鑛山戦士たちが、酷熱の坑内で、アセチリンランプのかすかな光りをたよりに、鑛脈に打ちこむ一撃、この一撃一撃に米英撃棒の全力をこめて掘り出す金鑛は、鑛車に山と積まれて牽引車で坑外の粗選場へ運ばれる。こゝでは碎鑛機が轟々と地盤をゆるがすばかりの響きをたて、廻轉してゐる。まだ嫁入り前の若い女たちも、男子の中にまじつてかひなくしくさいべを握つてゐる。これも

大東亞戦争が生んだたくましい増産風景の一つである。鑛車から下へ落された金鑛は、サーベによつて碎鑛機の中へ入れられる。中で鑛石の火花が散る。砕かれた鑛石は数條のベルトに乗せられて指選場へ送られる。ベルトの兩側にはそれ／＼三三名宛、女の指選工が立つてゐて、金をふくんだ鑛石と廢鑛とを手際よくよりわけ、廢鑛を取り去つてしまふ。こゝが金瓜石鑛山長仁鑛六坑粗選場一等職長小林軍次郎老の職場である。

彼は明治三十五年、二十四才の年に渡臺、以來今日に至る四十餘年間、その身命をこの鑛山に捧げて来た産

業戦士である。同じ職場に四十年、しかも人里離れた鑛山に、たしかに精神的にも又肉體的にも他のあらゆる職場に比して決して楽なところではない。彼が今では最古者として従業者の有望を一身に集め、山の寶とまでいはれてゐるのは、彼の實直な人柄はもとより、一度故郷を飛び出したからには石にかちりついても成

功して見せると云ふ鑛石の決意がさうさせたのである。黒防色のズボンに黒の背廣、地下足袋姿の小林老は、今年六十四とは思はれないほど、見るからに健康さうで、訥辯ではあるが、その

一語々々に氣概がこもつてゐる。

石に韌りついても

「人間は職場をかへずに辛抱せねばならぬ。これが彼の四十年の體験から割り出した人生哲學である。彼は兩眼をしばたきながら回想にふけるのであつた。

◆……わしは郷里(廣島縣安佐郡阿部町)の高等小學を出て、十九の年に町の郵便局に勤めたが、兩親を早く失したつたので姉の厄介になつてゐた。そんなことから、それに年も若かつたので身を持ち崩し、とう

（勘當されてしまった。たま〜郷里の人が臺灣の金瓜石と云ふ鑛山の飯場長になつてゐたので、その人を頼つて臺灣へ渡ることになつた。姉に話すといくらか勘當した身とはいへ、肉親の弟となるとふびんに思つたのか、その頃としては大金の十五圓をくれ、お前が臺灣へ渡つて、もし成功して立派な人間になれば復讐してやらう」と云つたのである。次いで郡長などを勤めたことのある先輩を訪ねたが、その時に「間は石にかぢりついで三年、云ふことがある。職場を見つけたら動かす辛抱せにやらんぞ。死んでもがらば

なつてしまった。鑛山事務所と云つても簡單な小屋掛けがあるだけ。金山の坑夫は全部五百人あまりもゐたらうか。わしは山の上の山上派出所務所で働くやうに云はれた。職名は運鑛夫である。坑内から出る鑛石をモッコに入れて下へ運ぶ。雨が多いで竹笠に棕櫚蓑を着て働かねばならぬ。濁身者はみな飯場に入らねばならぬが、新參古參の制度も仲々きびしかった。嫁へと云へば土方、舊等その前身は色々氣質も荒らかつた。来た當時はやはり内地が戀しい。山の上から海の彼方をちつと見渡す

時、涙さへにじんできるとがあつた。たとへ勘當された身とは云へ、肉身の姉はやはり戀しいものである。

黒死病と闘ふ

毎年十月頃から翌年の四月にかけては、お日様をみることも始どなかつた。雨季なのである。新參の自分は甚近くなる仕事場から下の飯場まで同僚の辨當を取りに下りる。雨季は山路がすべつて實に泣きたくなつた。重い辨當をかたいで又上にあがるのである。又天候不順だとこの山にはおそろしい傳染病がお

そつてくる。ベスト、コレラ、チフスと、一度これか山に入れば、全山にはびこり、貴重な生命を一朝にして奪つて行くのである。避病院も出来たが、全患者を收容しきれないほどの猛烈さ。殊に三十八年に黒死病が流行つた時はものすごかつた。それに土地に馴染ないために脚氣にかゝるものが多い。マラリヤ、アメーバも、今こそ醫術が進んでゐるが、その頃は油断すると命を奪はれることがあつた。一つは無理をするせいもあつたのだ。皆若い元氣なものばかりなので、仕事となると忠實だつた。マラリヤにかゝつてぶる

れ。と云はれたことを今でも忘れない。さて宇品から福岡丸に乗つたのが、明治三十五年、わしの二十四の年だつた。當時は船は基隆の港外までしか入れず、船が港外に入ると、こんどは船板に乗りうつつて上陸するのだが、波が高く船頭は眞裸、わしたちも海水をあびこびしよ〜になつた。何分交通の不便な時なので基隆に泊し、翌日瑞芳に向ふのだが、乗物としては轎があるだけ。しかしわしはこつ〜歩いたものだ。瑞芳から金瓜石までは、これはまたひどい芽みちで、流石の自分もすつかりおそろしく

をがまんして一日も缺勤することなく、灸のきづは二箇月目になほつたが、脚氣もそれできれいになほつてしまつた。

故郷に錦を飾る

明治四十一年には水南洞から峽谷寮に、鑛石運搬用の鐵索が出来、鑛山としての設備もやうやく整つて来た。それにこの頃、長仁鑛が発見され、露天堀がはじめられたが、草の根にさへ金のついてゐたことがあつた。そしてやがて溶鑛爐の設備も出来るやうになつた。金の盗掘と云へば、その頃はまだ護送の制度があり、守衛長を中心に、鑛砲隊と云ふのがあつて、隊員は十名もゐたらうか。一度は二坑に土匪が組をなして鑛石盗みに興つて来たことがあつた。又鑛石護送の途

臺灣事情

(昭和十七年版)

臺灣時報發行所

臺灣總督府内閣庶務課編輯

電話・府構内四九八番

中でやられ、鑛石をとられ
てしまったこともある。

まあかうして昔語りをし
てもきりはないが、わしは
山になれるに従つてます
／＼仕事が好きになり、大
正七八年の不景氣な時代に
も、まあおかげでこの山に
使つていたとき、その時選
鑛夫にかはつて以來ずつと
今日まで粗選場で働いてゐ
る。

昭和四年の六月には、會
社の命令で内地の日立鑛山
へ見學にやられたが、その
歸りにわしは二十四年ぶり
に郷里にかつた。家内と養
女をつれて姉にもあつた。
立派になつてくれたと、隨
分喜んでくれた。そしてそ

の時はじめて復籍してくれ
たのだつた。驚くのも無理
はないが、二十五年前の友
人は皆白髪で、孫のある者
さへある。妻子と一しよに
自動車に乗つて、先年郷里
を出る時に忠告していた
いた先輩のところにお禮に
上ると、その人はもう隠居
して別荘に自適してをられ
た。「あなたか言はれたこ
とは今もつて忘れません。

お陰様でこの通り漸く一人
前になりましたと云ふと、
とても喜んで下され、薬者
を呼んで、わしは床の間に
坐らされ、それこそ本當に
節をかざつて、盛大な祝を
していたといふことは今で
も忘れぬ。

辛抱するについて、わし
は人間は自分の分限をよく
わきまへることが大切だと
思ふ。よく一寸した不平か
ら職場を轉々としてかへる
者があるが、そんな者は成
功したためしがない。昭和
八年のこと、この鑛山の經
營が後宮から日本鑛業にか
はる時、慰勞金のことでも不
平を云ふものがあり、争議
團が出来た。その時は色々
なデマが飛び、人心が動搖
した。「お前はもう年寄り
で、日鑛に入つても十二月
にはくびになる。だから争
議團に入つた方がよい」と
もそのかされた。成程わ
しはその時五十五才であつ

い。酒を飲むとどへしても
失敗したり、勤務を休むや
うになる……。

た。しかしそんな馬鹿げた
ことはない筈だ。とうとう
がんばりとほしたのだが結
局は残つた者が勝利を得
る。

晴れの表彰

いよく經營が日鑛に移
り、わしは三毛所長によば
れた時に云つた。「わしは
臺灣に来て四十年近くなる
が、仕事をかへたことはも
よとり、臺北より南は、全
然知つてをりません。淡水
さへ知りません。それはな
ぜか、仕事を休んでまでも
遊びに行きたくない。休め
ば工場が困ります。」
所長も何時も口ぐせのや

彼の語る言
葉はいつつき
るとも知れな
かつた。とも
すると機械の
音に消されが
ちなその一語
／＼には深い
感激がこもつ
てゐた。それ
は一句として
いつはりのな
い真心から吐
露する貴重な
簡談であつ
た。たゞ黙々
として仕事に

忠實な彼のやうな人物を一
人でもよけいにもつことは
ます／＼産業日本を盤石の

安全におくものでありこれ
らが獲つて米英撃破の大き
な火の玉となるのである。

うに云はれる。小林、何も
心配することはいらぬ。ま
じめに働け。と。お陰で六
十四になつた今日も、まだ
第一線に出て働かせていた
といつてゐる。それに郷里の
姉にも毎月相當な送金が出
來、今では郷里でも私の評
判は非常にいい。養女も女
學校を卒業させることが出
來たが、これもみんな山のお
陰だと思つてゐる。それ
につけても人間は辛抱する
ことが大切だといふ。思
ふ。もしもあの時争議團に
入つてゐたら、この春のや
うに、總督さんから産業戰
士として表彰されることも
なかつた。それから健康も
大切だ。わしは酒も飲まな

い。酒を飲むとどへしても
失敗したり、勤務を休むや
うになる……。



VITAMIN A・B・C・D 協力栄養劑

コンビタ

真い体をつくれ!

コンビタは毎日のんで栄養を充
實し、肉體を活性化して、
病後、衰弱、疲労、又子供の
發育をグン／＼進めて下さい。

★コンビタは、肝油(V・A・D)と
V・B・Cとを綜合した新發明
で、そのA・D分は普通肝油の五十
倍以上の高單位です。

【毎日】大人五粒(一週間21粒)
小児二粒(一週間7粒)

販売元 ノーシン本舖
荒川長太郎(自名會社)

VITAMIN A・B・C・D=COMVITA



方共榮圖

諸民族と華僑下

共存共榮をめざし 南方民族の新發展

フィリッピン

陸の東南方、南支那海と西太平洋の間に横たはる七千有餘の島嶼より成り、北緯

四度から二十一度、東經百十六度半から百二十六度の間に包括され、その南北は

一千百五十二哩東西は六百八十二哩に亙る一大群島である。もつとも七千有餘の島嶼のうち、面積千平方哩以上のものは僅か十一に過ぎず、他は無名島又は無名の島か、小島である。
全群島の總面積は十一萬四千四百平方哩、わが朝鮮臺灣、樺太南半、南洋委任統治領、澎湖列島を合したものに略々等しく、その七割はフィリッピン群島中の二大島たるルソン島及びミンダナオ島によつて占められてゐる。

一九三六年七月一日現在の推定人口数は千三百二十六萬といはれ、それを構成する民族はネグリート

族、インドネシア族、マレー族と諸外國人とである。

ネグリート族

フィリッピンにおける唯一の黒人種たるネグリート

島北部、ミドンロ島南部、ミンダナオ島の東部及び中部に居住してゐるが、總數約十五萬、フィリッピン總人口の約一%に過ぎず、殆ど社會的勢力を形成するに至らない。

マレー族

フィリッピン人口の大多數を占めるフィリッピン・マレー族は、その數千三萬に及び、一五六五年この群島がスペインに征服されて以來移住し來たつたヨーロッパ人、主としてスペイン人と先住民族及びマレー族と混血して形成されたもので、今日一般にフィリッ

ピン人といはれるものは、このうちのキリスト教徒を指すのであるが、マレー種族中のキリスト教徒は九割一分、残りの九分は非キリスト教徒で、そのうち四分は回教徒である。

フィリッピン人キリスト教徒は、總數千二十萬人、八つの種族に大別され、總數の半分はヴィヤサン族、二割強はタガログ族が占めこの兩族はフィリッピン社會の中樞を成し、その社會的、政治的勢力は相互に相匹敵してゐるが、數において劣るタガログ族がよくヴィヤサン族に對抗し得るの

他ならない。
右兩族に次ぐ勢力を持つものは、イロカノ族で、その數約百二十萬、ルソン島西北部の比島群島中最も地味不良の土地にあつて、歡喜力行する愛國的種族であり、その他のビコール、パンガシナン、バンバンガン、カガヤン、サンバランの諸族も、各々その長所を發揮してフィリッピン社會の主力を形成してゐる。
次に非キリスト教徒たるマレー族(フィリッピン人)は、總數百二十萬、その約半數は回教徒たるモロ族で主としてミンダナオ島とスール島に居住してゐるが、同族は十四、五世紀頃アラ

インドネシア族

マレー族よりも早くこの群島に移住し來たつたインドネシア族は、現在ルソン

島北部、ミドンロ島南部、ミンダナオ島の東部及び中部に居住してゐるが、總數約十五萬、フィリッピン總人口の約一%に過ぎず、殆ど社會的勢力を形成するに至らない。

フィリッピン人キリスト教徒は、總數千二十萬人、八つの種族に大別され、總數の半分はヴィヤサン族、二割強はタガログ族が占めこの兩族はフィリッピン社會の中樞を成し、その社會的、政治的勢力は相互に相匹敵してゐるが、數において劣るタガログ族がよくヴィヤサン族に對抗し得るの

他ならない。
右兩族に次ぐ勢力を持つものは、イロカノ族で、その數約百二十萬、ルソン島西北部の比島群島中最も地味不良の土地にあつて、歡喜力行する愛國的種族であり、その他のビコール、パンガシナン、バンバンガン、カガヤン、サンバランの諸族も、各々その長所を發揮してフィリッピン社會の主力を形成してゐる。
次に非キリスト教徒たるマレー族(フィリッピン人)は、總數百二十萬、その約半數は回教徒たるモロ族で主としてミンダナオ島とスール島に居住してゐるが、同族は十四、五世紀頃アラ

ビアからボルネオを経てミ
ンダナオ島に移住したもの
と、以前からミンダナオ島
に居住してゐて回教に歸依
したものとがあり、彼等は
極めて勇猛慷慨である。

回教徒以外のマレー族に
して、且つ非キリスト教徒
たる種族としては、イゴロ
ツト族、イフガオ族、カリ
ンガ族、ティンギアネス族
が擧げられるが、このうち
前二者はルソン島の山岳州
中に住居して山腹に階段式
水田を作つて米作に従事
し、特にイゴロツト族はそ
の容貌が日本人に酷似して
ゐる。

以上が外國人を除くフィ
リッピン群島の住民の概略

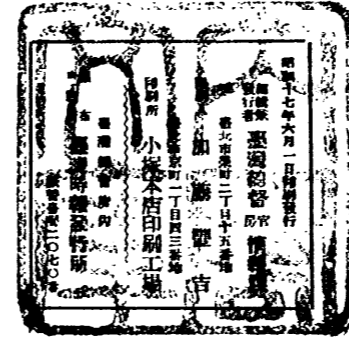
であるが、その大部分は農
業國たるフィリッピンの北
はルソン島から南はミンダ
ナオ島に至る各島に居住し
て、米、甘蔗、椰子、麻等
の栽培に従事してをり、彼
等の主食物が米であるた
め、米の輸出餘力をそ持た
ないが、砂糖、椰子油、マ
ニラ麻、コブラ、煙草を始
め農産物の輸出はフィリッ
ピン輸出總額の約九割を占
め、主要輸出品十二種中の
九種迄が農産品である。

華 僑

千數百年以前よりフィリ
ッピンに移住を開始した支
那人は、約三百年前よりそ
の數を増加して現在約七萬
人に達してゐるが、その數
は他の東南アジア各地にお
ける彼等の數に比して遙か
に少い。

フィリッピンにおける華
僑の經濟的活動は、他の諸
地域における活動同様、商
業に集中されてをり、比島
小賣商業の九割は支那人の
手にあり、卸賣商業もまた
その大部分を支那人が支配
してゐる。歐米人大商店と
フィリッピン人との間に仲
介者としてその利益を壟斷
し、更にフィリッピンの重
要産業たる椰子、煙草、米、
麻、砂糖、コブラ、木材等
の栽培製造事業に對する彼
等の投資も大きく、華僑の

投資總額は、一千七百萬ペ
ソと推算されてゐる。
これ等華僑と比島原住民
がわが比島作戦の輝かしい
戦果を前にして、東亞共榮
圈確立の大理想を理解し、
積極的に協力を求めつつあ
ることは、新生比島の新發
足の大きな原動力となるば
かりではなく、南方諸地域
の諸民族と華僑に與へる影
響もまた大きいのである。



理想乾燥標量 兒乳膏養料



有含ンミタイヴ芽胚

ルースオビ

赤ちゃんの重湯
赤ちゃんを乳やコナミルクで
育てる場合、ビオスミールを加
へ栄養をあげて與へる事は補
育の常識として小児科に推奨せ
られて居ります。早くすると胃
腸の具合を危へて大變丈夫に育
ちます。

離乳に:
重湯やお粥は、離乳期の乳児の
大切な食餌です。ビオスミール
で作る重湯やお粥は、栄養があ
り、消化が正確で安全に離乳が
出来ます。

【見本説明書付】

ビオスミールは、ビオミンや
ビタミンを含む栄養豊富な食品
で、容易に自家自由な重湯を作
る事が出来ます。



小大
一〇〇瓦

株式会社
堂光和
町治園 區田神市京東
町部太久南區東市阪大

母乳用粉乳
キノミール
マルツエキス
牛乳成分抽出料
大印遊離糖
小島菜油抽出料
シンカロール

結核豫防に!

脂溶性ビタミン

体内に充分な脂溶性ビタミンを補給すると皮膚や呼吸器粘膜の防壁を強化し、病菌や病虫の侵入をうける強い抵抗力を培ひます。その目的には毎日鉄かさず一二粒のハリパの連用が最も手軽で効果的です。

東京 大阪 田邊商店
包装...百粒・五百粒